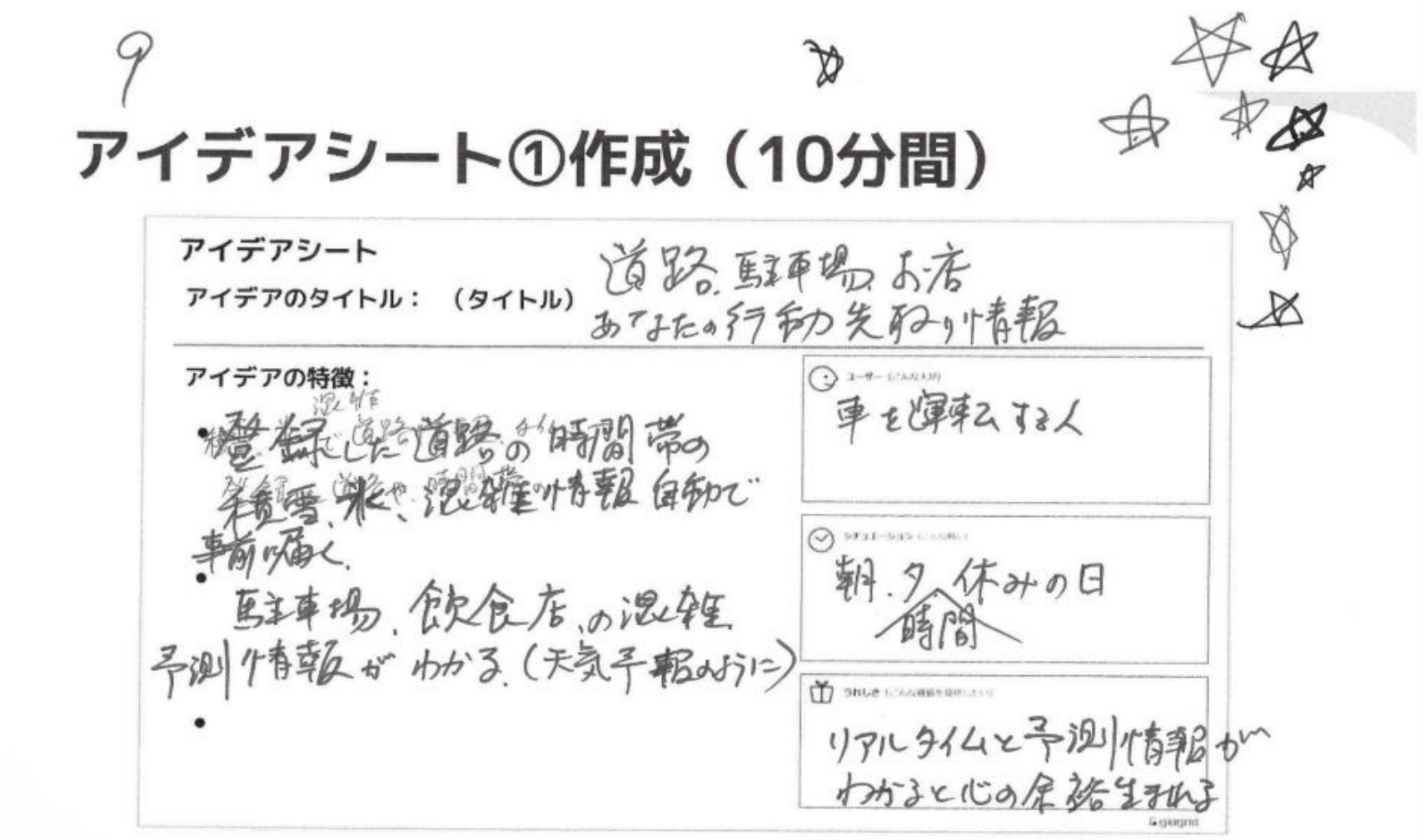
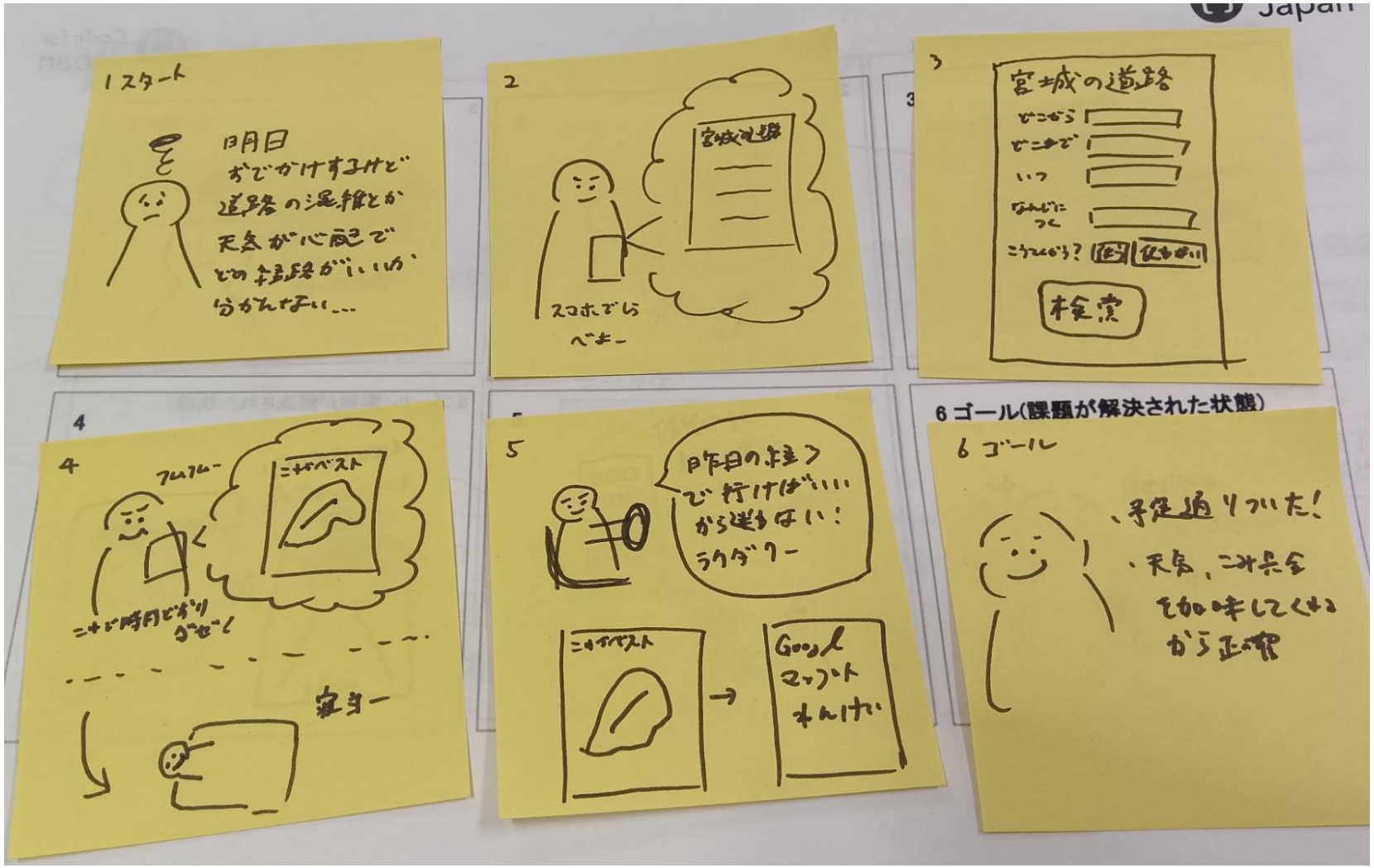
アイデアシート


アイデアシート①作成（10分間）
アイデアシート
アイデアのタイトル：（タイトル）
道路、駐車場、お店
あてなたの行動先取り情報
アイデアの特徴：
登録した道路の時間帯の
積雪、氷、混雑の情報自動で
車両届く。
駐車場、飲食店、の混雑
予測情報がわかる（天気予報のように）
車を運転する人
朝、夕休みの日
時間
リアルタイムと予測情報が
わかると心の余裕生まれる

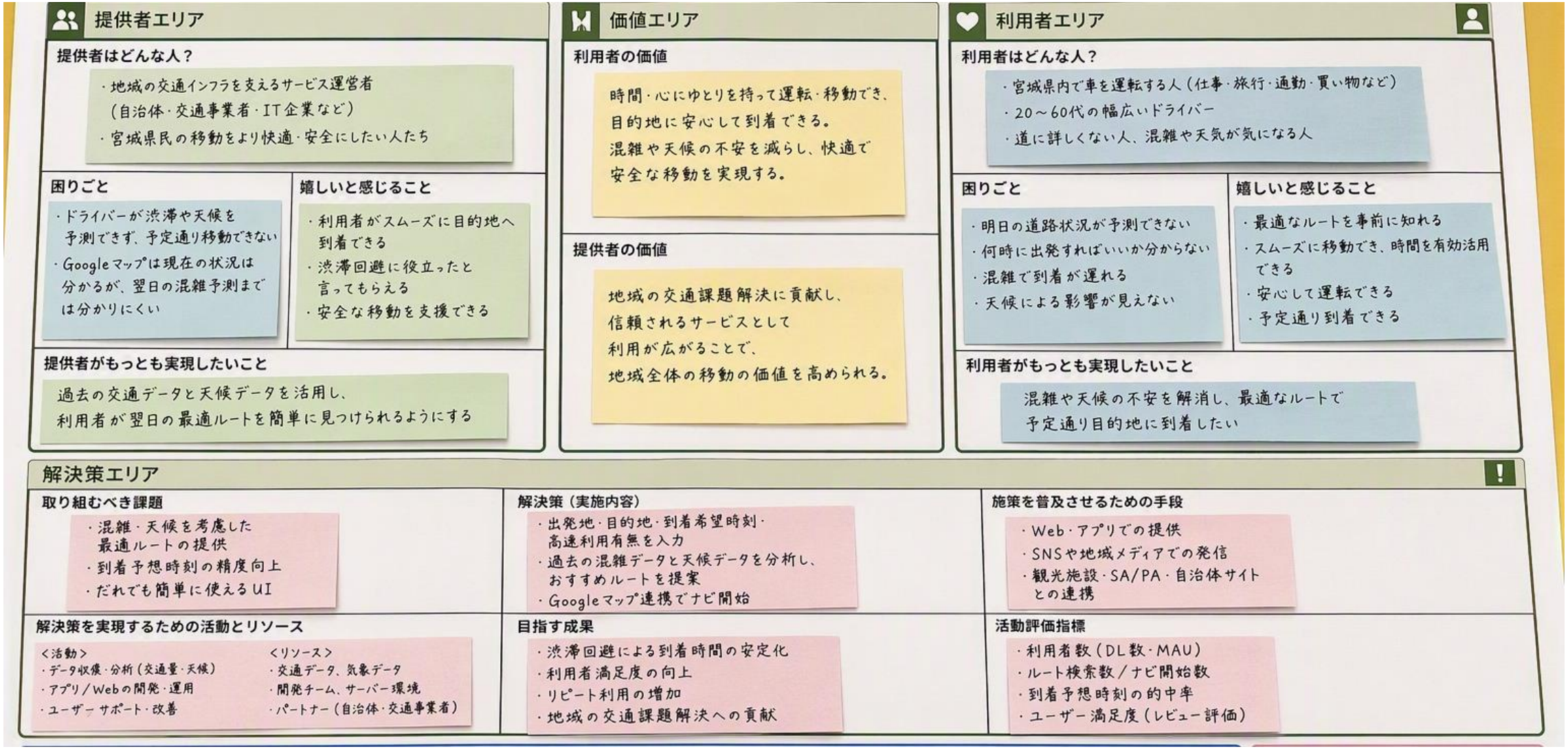
ストーリーボード



解決策のイメージ画像

WORKSHEET ❸
ワイヤーフレームシート
画面をかんたんに手描きしてみよう
1 トップ画面
宮城の道路ナビ
過去の混雑や天気を考慮した
最適ルートを提案します
ルートを検索
最近の検索
すべて見る
仙台駅 → 松島海岸
5/18 08:00 発
仙台市泉区 → 秋保温泉
5/17 10:00 発
ホーム
履歴
お気に入り
設定
2 条件入力画面
条件を入力
出発地
例）仙台駅
目的地
例）松島海岸
出発日時
2025/05/19（月）
08:00
到着希望時刻（任意）
10:30
高速道路の利用
利用する
利用しない
検索する
3 検索結果一覧画面
ルート検索結果
おすすめ順
ルートA（バランス重視）
1時間45分
距離 67.3km 到着 09:45
渋滞：少なめ 天気：くもり
ルートB（早さ重視）
1時間32分
距離 72.1km 到着 09:32
渋滞：やや多い 天気：くもり
ルートC（一般道優先）
2時間10分
距離 59.8km 到着 10:10
渋滞：少なめ 天気：くもり
※所要時間は予測です
4 ルート詳細画面
ルート詳細
概要
混雑予測
天気
道順
ルートA（バランス重視）
1時間45分（67.3km）
到着予定 09:45
出発地
目的地
時間帯ごとの混雑予測
出発時間 7時 8時 9時 10時 11時
このルートでナビ開始
5 予測情報画面（混雑・天気）
予測情報
過去の混雑傾向（同じ曜日・時間帯）
少ない やや多い 多い
6時 7時 8時 9時 10時 11時 12時
出発予定 8:00
区間ごとの混雑状況
仙台駅周辺 少ない
仙台南IC ～ 利府中IC やや多い
利府中IC ～ 松島海岸IC 少ない
松島海岸周辺 少ない
6 ナビ連携画面
ナビを開始
Google マップで
ナビを開始します
ルートA（バランス重視）
1時間45分（67.3km）
出発 08:00 到着予定 09:45
Google マップを開く
キャンセル
入れる要素にチェック↓
タイトル
ボタン
入力欄
一覧表示
画像/地図
AIに伝える一言メモ
ワイヤーフレームを、AIへの指示文にしてみよう。
・宮城県内の出発地と目的地を入力して、
最適なルートを提案するアプリ
・過去の混雑傾向と天気を考慮しておすすめルートを表示
・Googleマップと連携してナビを開始できる
・シンプルで見やすく、初心者でも使いやすいデザイン
自分の一言メモ
→ 次のハンズオンで、そのまま
AIに話しかけてみましょう
P.3 / 3 ワークシート③
Code for Japan | 自分でつくれるデジタル未来 Lab

サービスキャンバス


提供者エリア
提供者はどんな人？
・地域の交通インフラを支えるサービス運営者
（自治体・交通事業者・IT企業など）
・宮城県民の移動をより快適・安全にしたい人たち
困りごと
・ドライバーが渋滞や天候を予測できず、予定通り移動できない
・Googleマップは現在の状況は分かるが、翌日の混雑予測までは分かりにくい
嬉しいと感じること
・利用者がスムーズに目的地へ到着できる
・渋滞回避に役立ったと言ってもらえる
・安全な移動を支援できる
提供者がもっとも実現したいこと
過去の交通データと天候データを活用し、
利用者が翌日の最適ルートを簡単に見つけられるようにする
価値エリア
利用者の価値
時間・心にゆとりを持って運転・移動でき、
目的地に安心して到着できる。
混雑や天候の不安を減らし、快適で
安全な移動を実現する。
提供者の価値
地域の交通課題解決に貢献し、
信頼されるサービスとして
利用が広がることで、
地域全体の移動の価値を高められる。
利用者エリア
利用者はどんな人？
・宮城県内で車を運転する人（仕事・旅行・通勤・買い物など）
・20～60代の幅広いドライバー
・道に詳しくない人、混雑や天気が気になる人
困りごと
・明日の道路状況が予測できない
・何時に出発すればいいか分からない
・混雑で到着が遅れる
・天候による影響が見えない
嬉しいと感じること
・最適なルートを事前に知れる
・スムーズに移動でき、時間を有効活用できる
・安心して運転できる
・予定通り到着できる
利用者がもっとも実現したいこと
混雑や天候の不安を解消し、最適なルートで
予定通り目的地に到着したい
解決策エリア
取り組むべき課題
・混雑・天候を考慮した最適ルートの提供
・到着予想時刻の精度向上
・だれでも簡単に使えるUI
解決策（実施内容）
・出発地・目的地・到着希望時刻・高速利用有無を入力
・過去の混雑データと天候データを分析し、おすすめルートを提案
・Googleマップ連携でナビ開始
施策を普及させるための手段
・Web・アプリでの提供
・SNSや地域メディアでの発信
・観光施設・SA/PA・自治体サイトとの連携
解決策を実現するための活動とリソース
<活動>
・データ収集・分析（交通量・天候）
・アプリ/Webの開発・運用
・ユーザーサポート・改善
<リソース>
・交通データ、気象データ
・開発チーム、サーバー環境
・パートナー（自治体・交通事業者）
目指す成果
・渋滞回避による到着時間の安定化
・利用者満足度の向上
・リピート利用の増加
・地域の交通課題解決への貢献
活動評価指標
・利用者数（DL数・MAU）
・ルート検索数/ナビ開始数
・到着予想時刻の的中率
・ユーザー満足度（レビュー評価）